鹿屋の食と農の魅力を堪能



10月24日、市内を巡り食と農を体験する「食育体験ツアー」が開催されました。参加した小学生は、子牛のミルクやりや乳しぼり体験、バターづくりやさつまいも堀りを通して食の豊かさを実感。サツマイモに関するゲームで農業への理解を深め、鹿屋の食と農の魅力を堪能しました。

牧場で乳用牛と触れ合う



10月24日、鳴之尾牧場でファミリーキャンプ「牧場へ行こう」が開催されました。乳用牛へのえさやり体験やバター・ホットケーキ作り、牧草ロールペイントなどが行われ、参加した親子らは、牛との触れ合いや牧場ならではの体験を楽しんでいました。

地域の魅力を英語で披露



10月16日、リナシティかのやで「グローカルコンテスト2026」が行われました。スキット部門（小学５・６年生）では「きいて！わたしの鹿屋じまん」、プレゼンテーション部門（中学生）では「鹿屋から発信、持続可能でよりよい世界を目指して」をテーマとし、出演者は英語で発表を行いました。

有機茶を使った学校給食を提供



10月15日、鹿屋小学校で地元産有機茶を使用した学校給食が提供されました。児童たちは生産者から講話を受けたあと、給食に出た「魚の茶パン粉焼き」をおいしそうに食べていました。これは地産地消などの食育を推進するための取り組みで、今回は市内小中学校20校に提供されました。

鹿屋でしか生まれない洗練された価値



11月２日、㈱寿商会と㈱フェスティバロ社が共同開発し、かのやの台地の恵みをギュッと詰め込んだ新商品「唐芋レアケーキコトブキチーズ」のPRイベントが市役所で行われました。「鹿屋でしか生まれない洗練な価値」を求めて形にしたとされる新商品は11日から販売されています。

大塚製薬㈱との包括連携協定を締結



10月30日、大塚製薬㈱と本市が包括連携協定を締結しました。この協定は、双方の資源を有効活用し、市民の健康づくりなどを中心に幅広い取り組みを協働して推進することにより、地域活性化や市民サービスの向上を目指して締結したものです。

土曜朝市、30周年を祝う



10月24日、リナシティかのやイベント広場で「土曜朝市モーニングマーケット」が開催されました。土曜朝市は今年で30周年を迎え、節目を祝うイベントとして開催。生鮮品の販売などのほか、つみれ汁やカンパチの振る舞いなどが行われ、多くの人で賑わいました。

福祉について学び、楽しみ、理解する



10月17日、リナシティかのやで「令和8年度鹿屋市福祉まつり」が開催されました。同イベントでは保健福祉関係の各種表彰のほか、東京都健康長寿医療センターの村山洋史（むらやまひろし）氏による基調講演、ボランティアフェスティバルなどが行われ、参加者は福祉への理解を深めました。

秋まつりで一日中賑わう









11月１日、リナシティかのや周辺で「鹿屋市秋まつり」等のイベントが開催されました。歩行者天国やハロウィンパレード、ステージイベントなどのほか、北田わかだいしょう焼酎まつりも行われ、多くの来場者が思い思いに一日を楽しんでいました。

パープルリボンを寄贈



10月30日、吾平茶のん家もりあげ隊の女性メンバーが、「女性に対する暴力をなくす運動の啓発に役立ててほしい」と、手作りのパープルリボン約400個を市に寄贈しました。

防犯功労団体表彰を受賞



10月21日、九州防犯協会連絡協議会防犯功労団体表彰を受賞した、川西町内会地域安全パトロール隊が市役所を訪れ、受賞の喜びと活動の様子を報告しました。

男性脳・女性脳って？



10月18日、リナシティかのやで男女共同参画講演会が開催され、参加者81人は、脳科学を通して無意識の思い込みや個性を尊重する大切さを学びました。